

令和二年度  
羽咋郡市  
糖尿病地域連携協議会  
活動成果報告

羽咋郡市糖尿病地域連携協議会

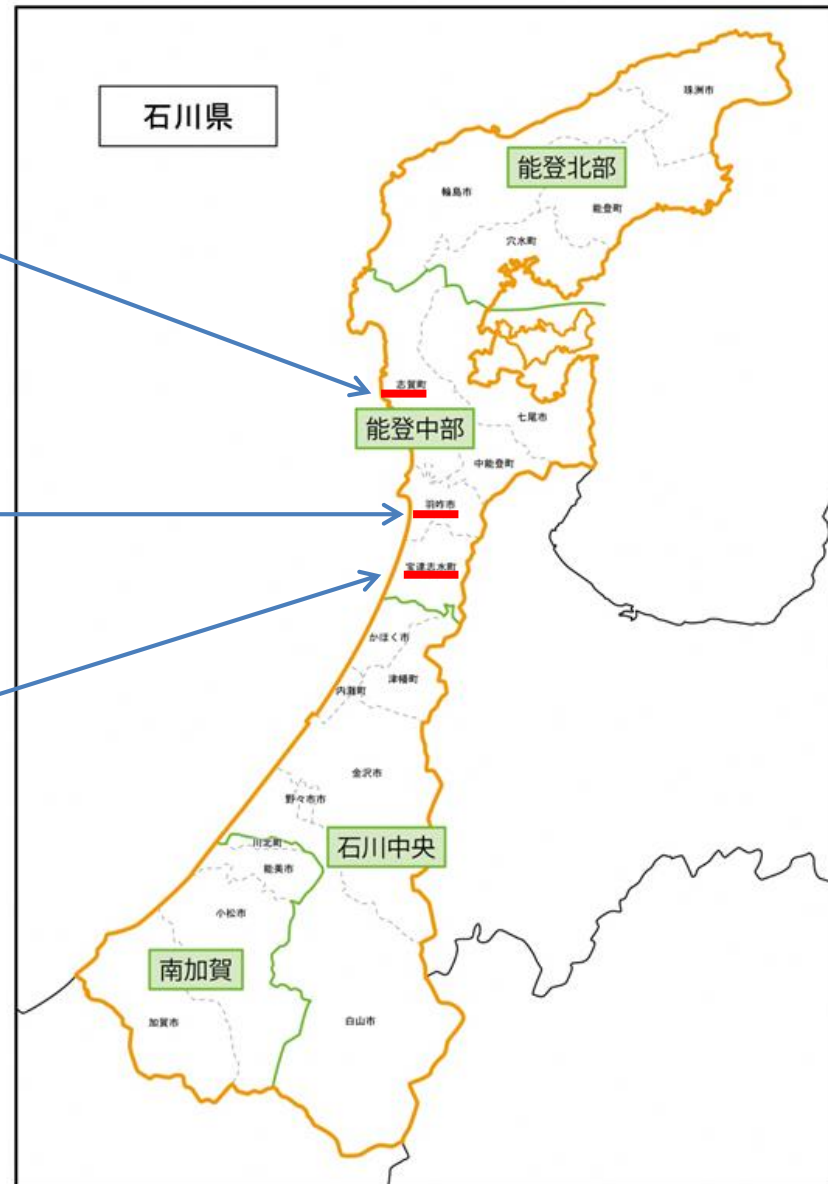
代表: 西澤 誠(町立宝達志水病院)

副代表: 中野 茂(志賀クリニック)

# 羽咋郡市1市2町村の人口・高齢化率

- 志賀町  
人口: 19,418  
高齢化率: 44.0%
- 羽咋市  
人口: 20,763  
高齢化率: 39.3%
- 宝達志水町  
人口: 12,681  
高齢化率: 38.6%

(令和3年3月末時点、羽咋市の高齢化率は平成30年時点)



# 羽咋郡市の医療機関

## 志賀町

## 羽咋市

## 宝達志水町

糖尿病地域連携協議会の中核施設

志賀クリニック

町立  
富来病院

医科: 7施設

歯科: 4施設

公立  
羽咋病院

医科: 18施設

歯科: 13施設

町立  
宝達志水病院

医科: 2施設

歯科: 4施設

# 活動の概要

## 住民・患者に対する取り組み

- 特定健診の事後指導
- 市町保健師・管理栄養士による療養指導
- 糖尿病理解のための出前講座などの啓蒙活動
- 指導困難事例に対する検討
- 眼科・歯科・内科との連携事業
- 特定健診結果からの課題の抽出

## 医療関係者に対する取り組み

- 講演会の開催
- かかりつけ医からの依頼による療養指導実施



# 特定健診結果からの重症化予防活動

- **羽咋市**

内容: 頸動脈超音波検査・血圧脈波検査

対象者: HbA1c 6.5%以上等の動脈硬化症の危険因子を有する人

参加者: 14人

- **志賀町**

内容: 講演会

対象者: HbA1c 6.5%以上、未治療者

参加者: 14人

- **宝達志水町**

内容: 講演会・運動療法指導

対象者: HbA1c 6.5%以上

参加者: 9人

# かかりつけ医からの依頼による 市町保健師・管理栄養士による療養指導

- **目的:**

かかりつけ医で治療中の糖尿病患者の生活指導、栄養指導の支援

- **方法:**

かかりつけ医の要請により市町の保健師および管理栄養士が患者指導を実施

- **実績:**

令和2年度に1件(羽咋市)

# その他の活動成果

- **事例検討:**  
令和2年11月26日3例の介入困難な事例について検討を行った。
- **医療従事者対象の研修会:**  
令和3年3月25日に開催した。(参加者28名)



# 眼科・歯科・内科との 連携事業

高齢糖尿病患者の腎臓病進展への対策  
～腎症重症化予防プログラムを踏まえて～

平成30年末の症例登録数：903例

歯科受診の有無により分類した糖尿病患者の  
各種パラメーターの変動：羽咋郡市医師会に  
おける他施設共同研究による3年間の観察経  
過（第12報）。

	歯科定期受診		p
	なし	あり	
例数	86	42	ns
年齢（歳）	63±10	62±11	ns
性別（男性%）	58	67	ns
BMI (kg/m <sup>2</sup> )	24.9±3.2	25.8±4.0	ns
糖尿病歴（年）	11±9	9±8	ns
高血圧症（%）	52	60	ns
資質異常症（%）	67	67	ns
糖尿病合併症：神経症（%）	9	12	ns
網膜症（%）	15	7	ns
腎症（%）	24	21	ns

Mean±SD,または頻度（%）：初回検査時

## 歯周疾患指数

(Community Periodontal Index: CPI)

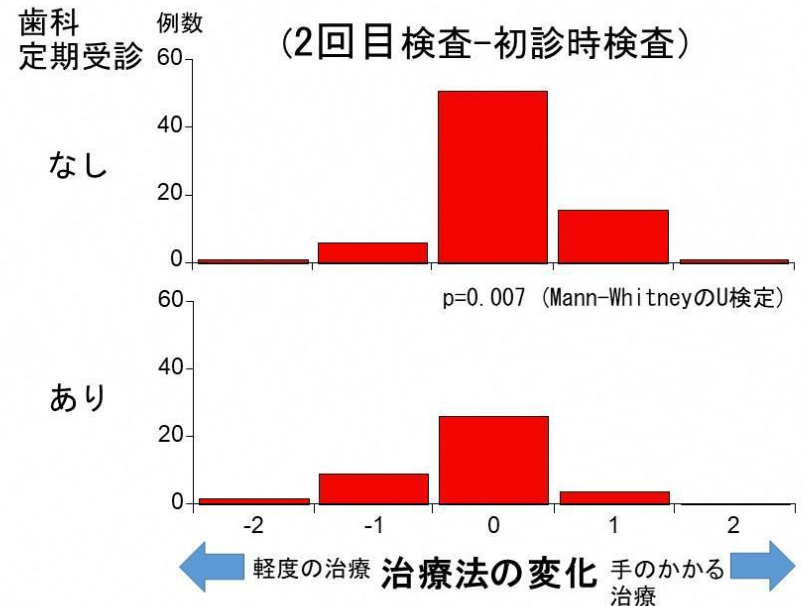
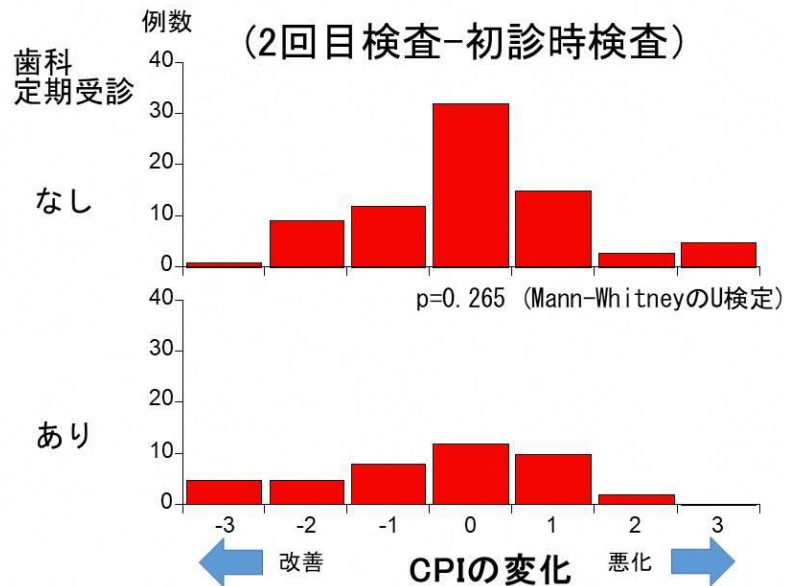
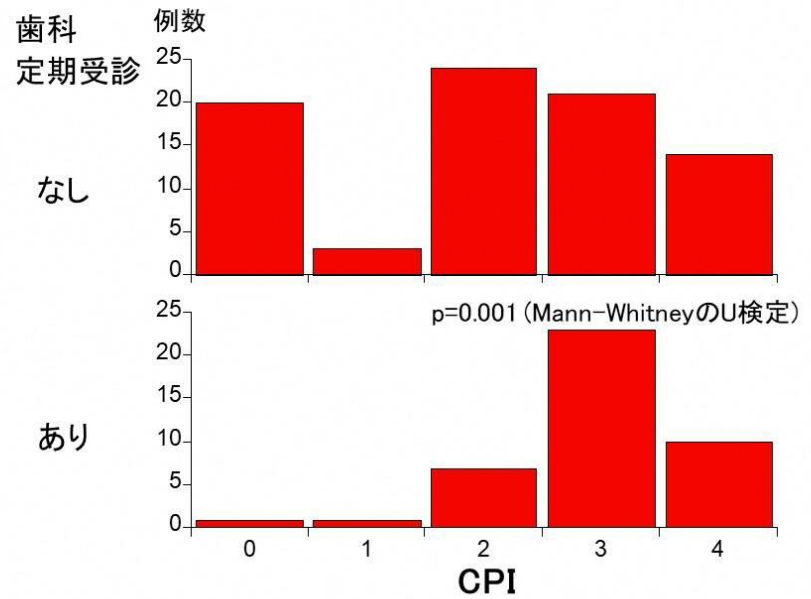
- 0 = 異常なし
- 1 = 歯肉出血
- 2 = 歯石沈着
- 3 = 歯周ポケット (4-5mm)
- 4 = 歯周ポケット (> 6mm)

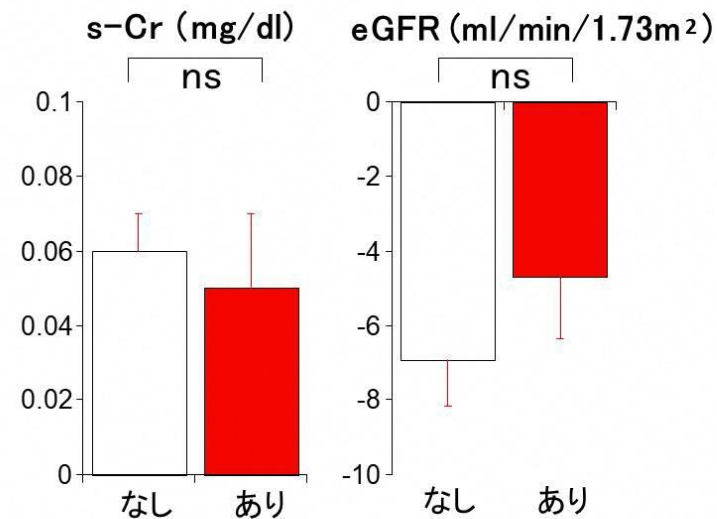
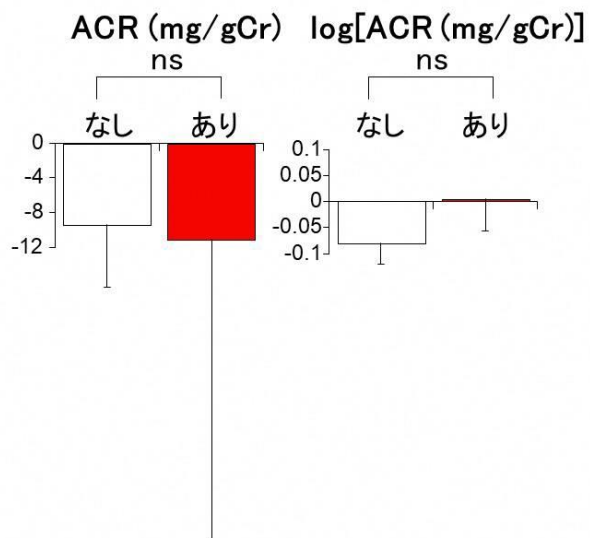
## 歯周病の治療

- 1 = ブラッシング指導及びスケーリング  
で定期的管理
- 2 = スケーリング及びルートプレーニング (SRP)
- 3 = 歯周外科治療

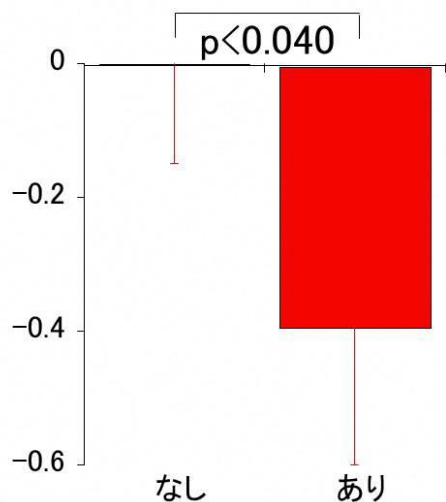
	歯科定期受診	初回検査	3年後検査	対応のあるt検定 (p値)
BMI (kg/m <sup>2</sup> )	なし	24.9±3.17	→ 24.9±3.01	ns
	あり	25.8±4.02	→ 25.9±4.44	ns
HbA1c (%)	なし	6.8±0.9	→ 6.9±0.9	ns
	あり	6.6±0.5	→ 6.8±0.5	0.035
ACR (ng/gCr)	なし	31±65	→ 22±39	ns
	あり	97±440	→ 86±282	ns
Log(ACR[mg/gCr])	なし	1.15±0.49	→ 1.07±0.45	ns
	あり	1.14±0.61	→ 1.15±0.65	ns
血清Cr (mg/dl)	なし	0.72±0.17	→ 0.78±0.18	<0.001
	あり	0.79±0.21	→ 0.83±0.25	0.030
推算GFR (ml/min/1.73m <sup>2</sup> )	なし	78±17	→ 71±15	<0.001
	あり	75±18	→ 70±18	0.008
CPI	なし	2.0±1.4	→ 2.0±1.5	ns
	あり	2.9±0.8	→ 2.5±1.3	ns (0.077)

(Mean±SD)





Community periodontal index (CPI)



### 考察

今回の結果は、対象患者の平均HbA1cが6.7%と比較的軽症であったことや、腎機能改善までには3年は短すぎたと考えられた。また定期受診群で受診頻度や歯科治療をより強化していく必要がある。今後も症例数を増やして、長期に渡って経過を見ていく予定である。

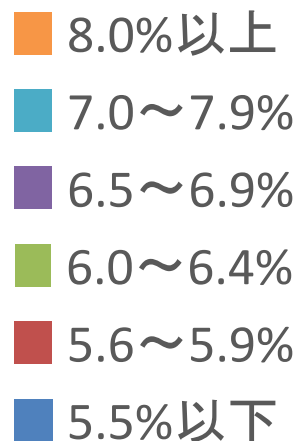
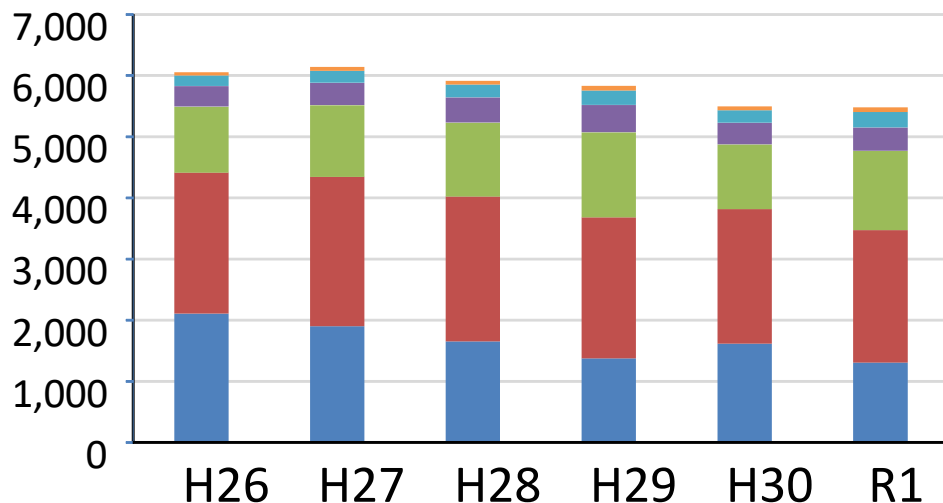
### 結論

糖尿病患者における定期歯科受診は、3年後のCPIを有意に改善させたが、血糖コントロールや腎機能を改善させるには至らなかった。

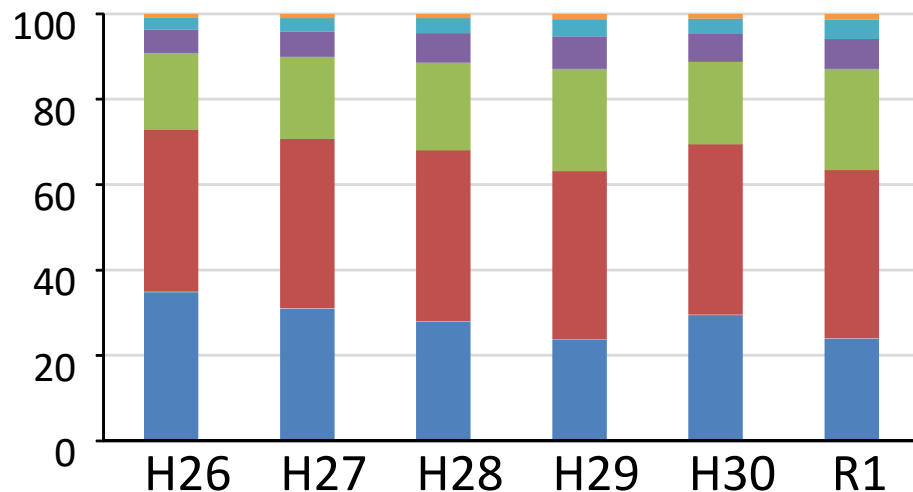
# 特定健診結果からみた重症化予防 の状況と課題

# 全受診者におけるHbA1cの状況

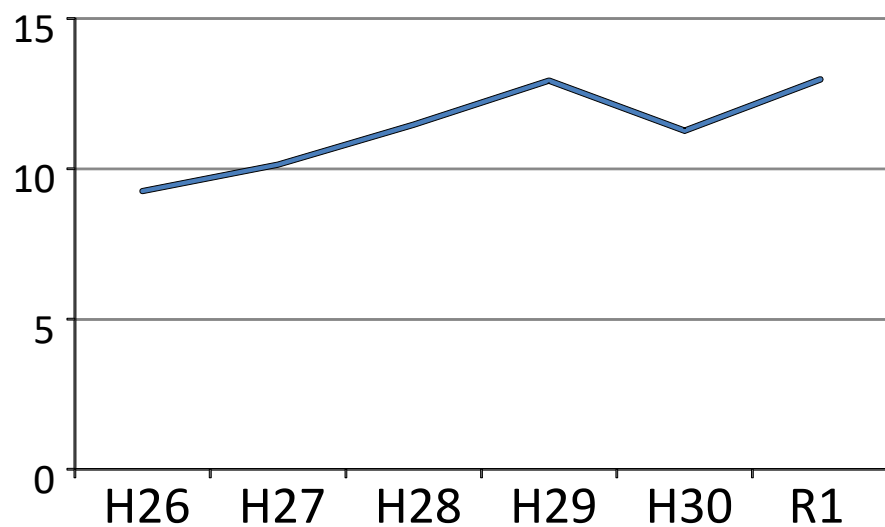
## HbA1c別受診者数



## HbA1c別受診者割合

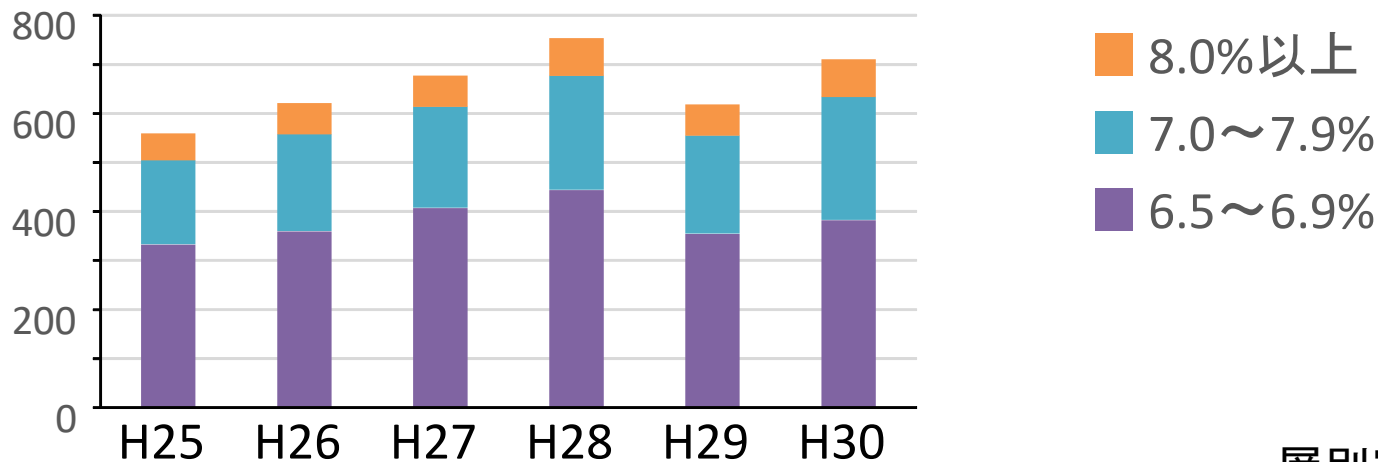


## HbA1c 6.5%以上の割合

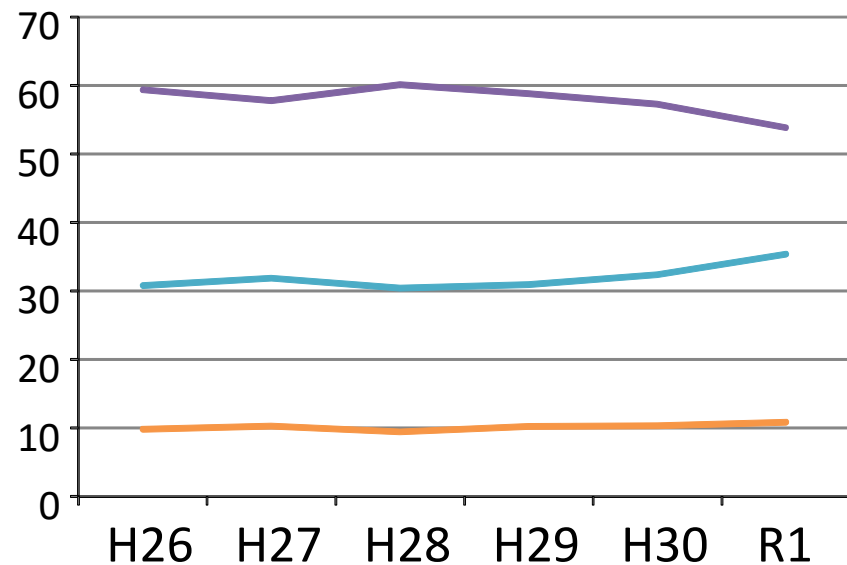
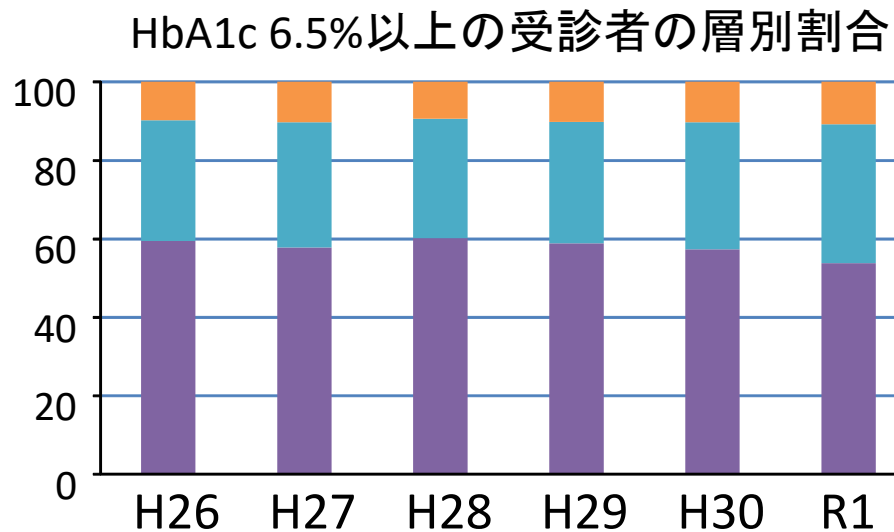


# 全受診者におけるHbA1c 6.5%以上の状況

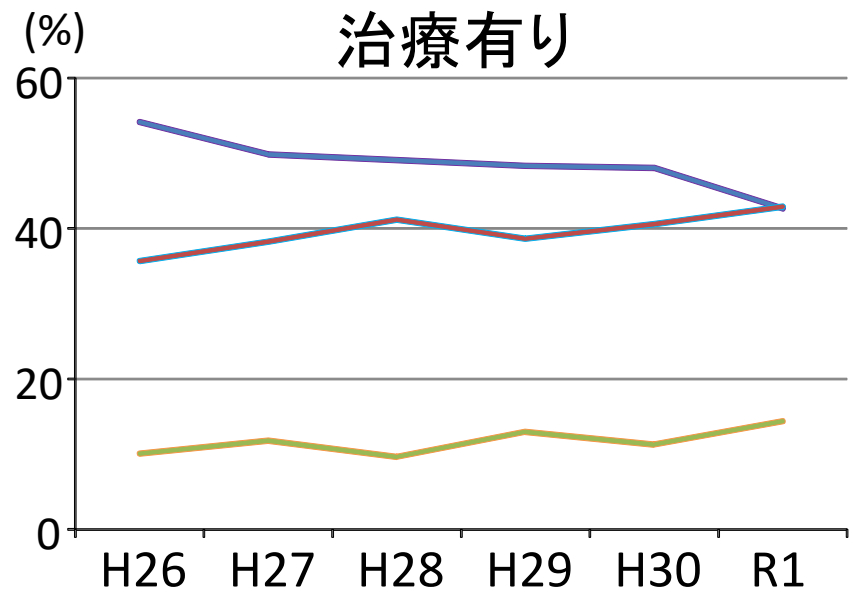
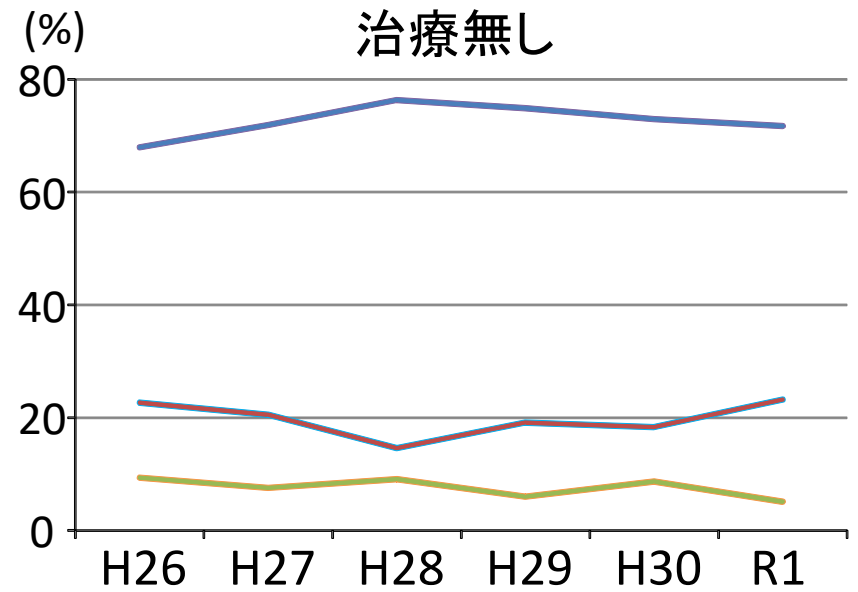
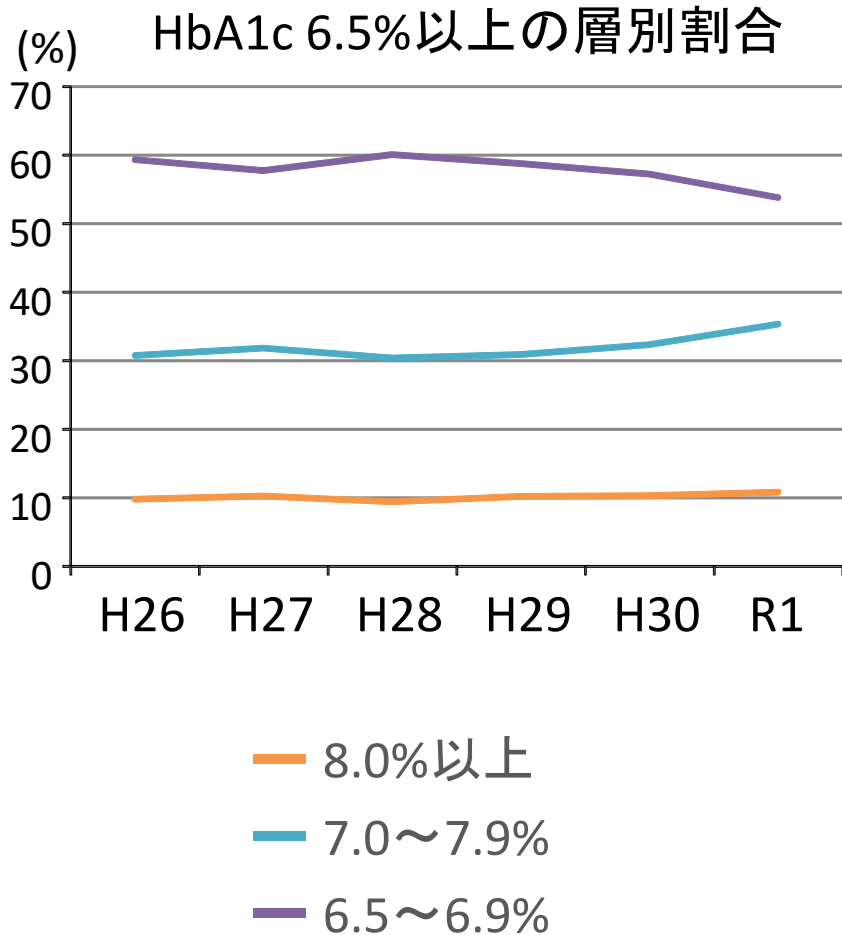
## HbA1c 6.5%の受診者数



## 層別割合の推移

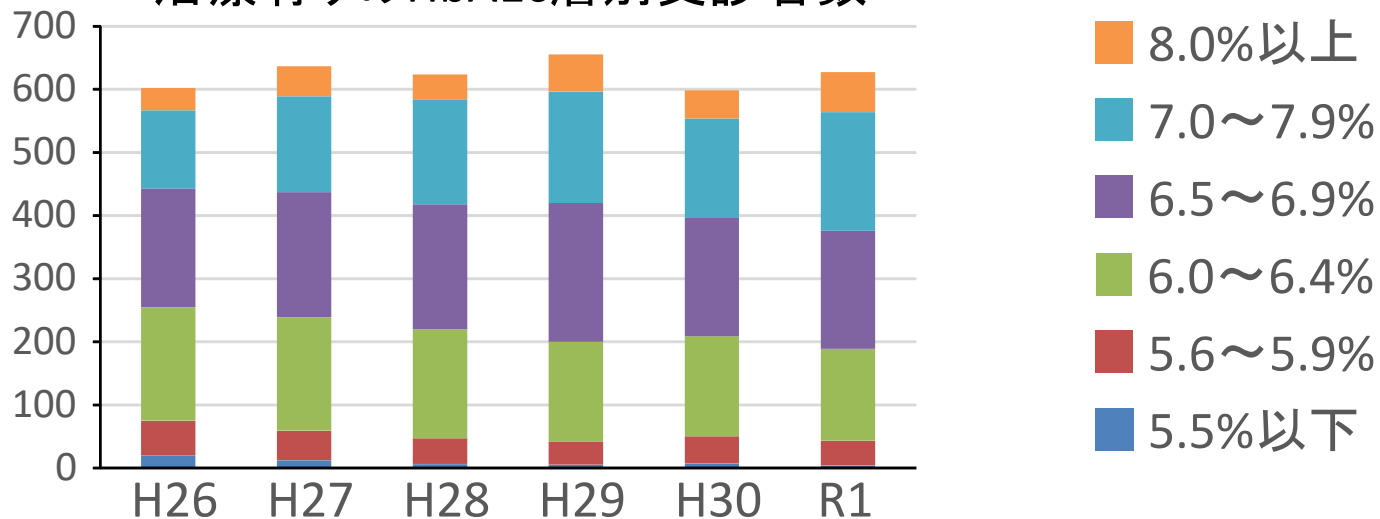


# 治療の有無によるHbA1c 6.5%以上の割合

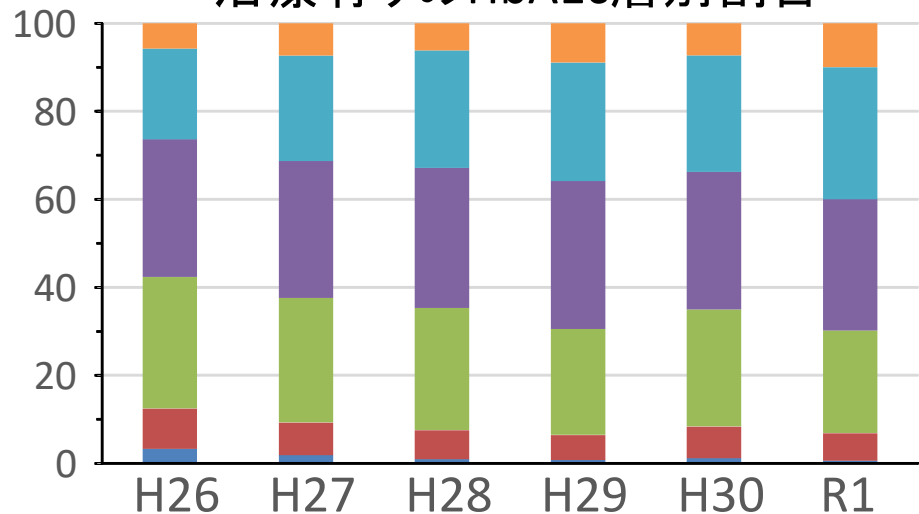


# 糖尿病治療ありにおけるHbA1c の状況

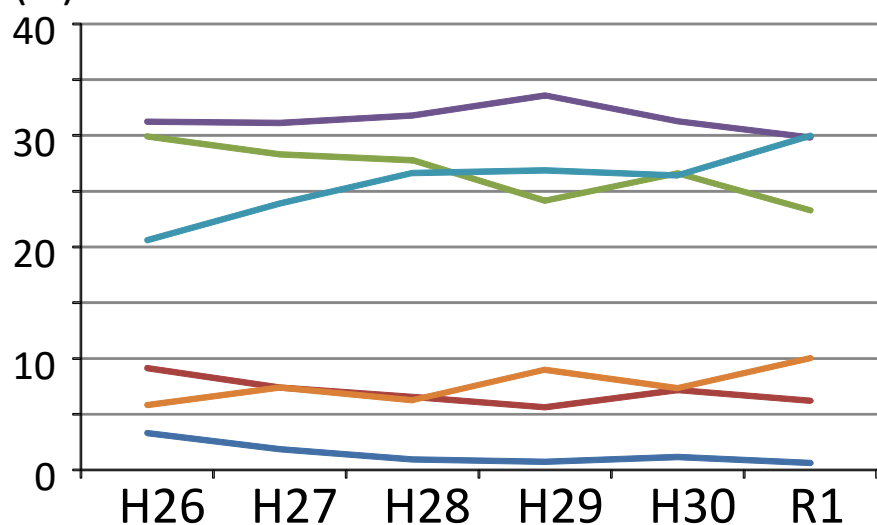
## 治療有りのHbA1c層別受診者数



## 治療有りのHbA1c層別割合



## (%) 治療有りのHbA1c層別割合の推移

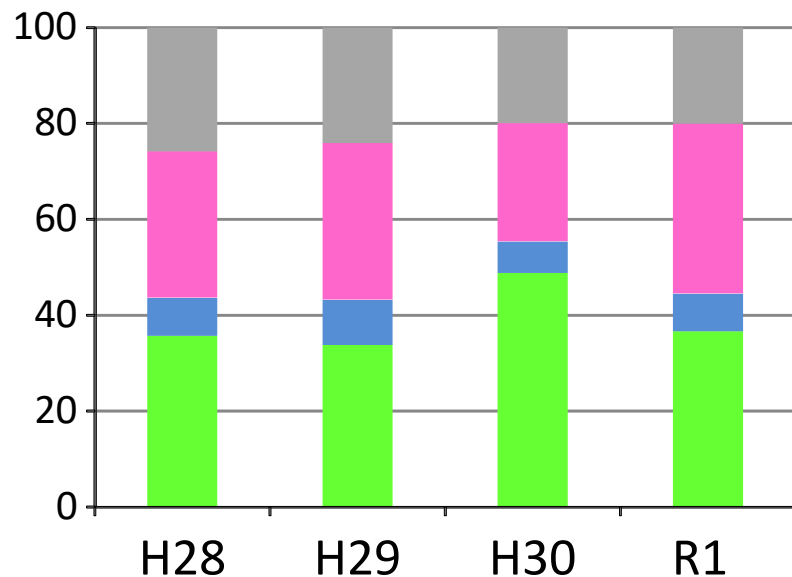
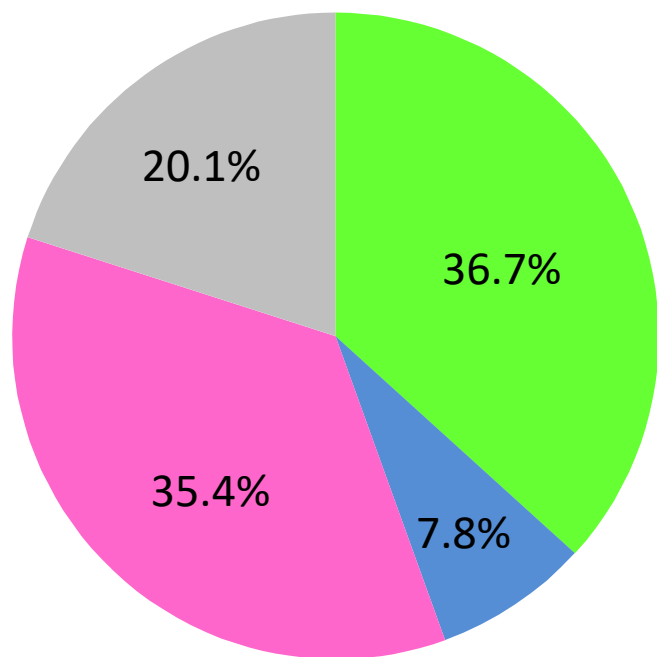




# 前年度HbA1c 6.5%以上受診者の変化

平成30年度のHbA1c 6.5%以上の  
検診受診者の令和1年の変化

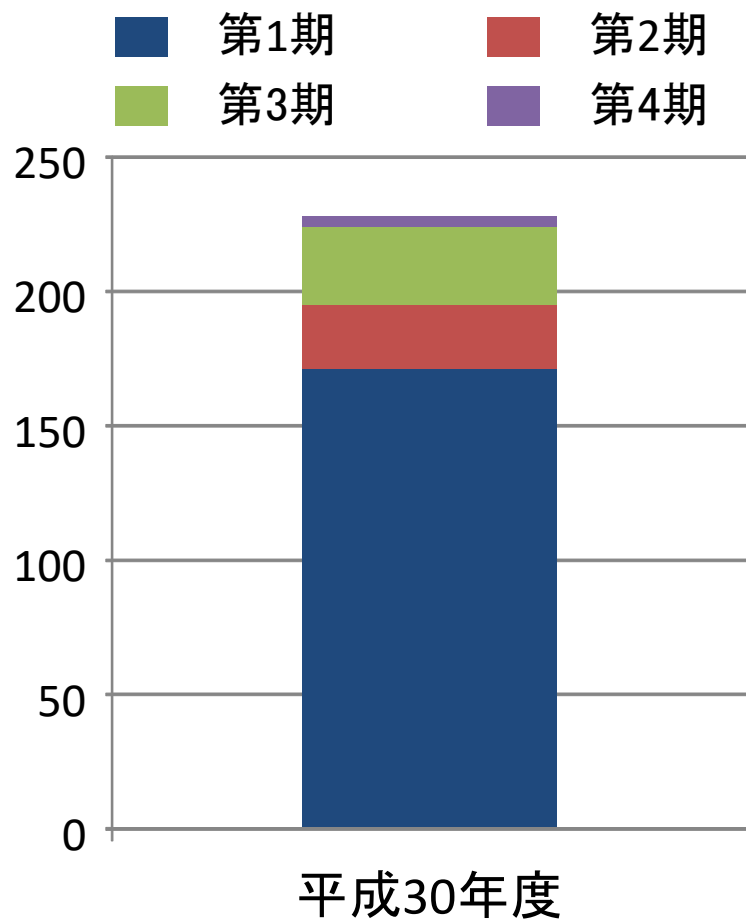
前年度のHbA1c 6.5%以上の検診  
受診者の翌年における変化



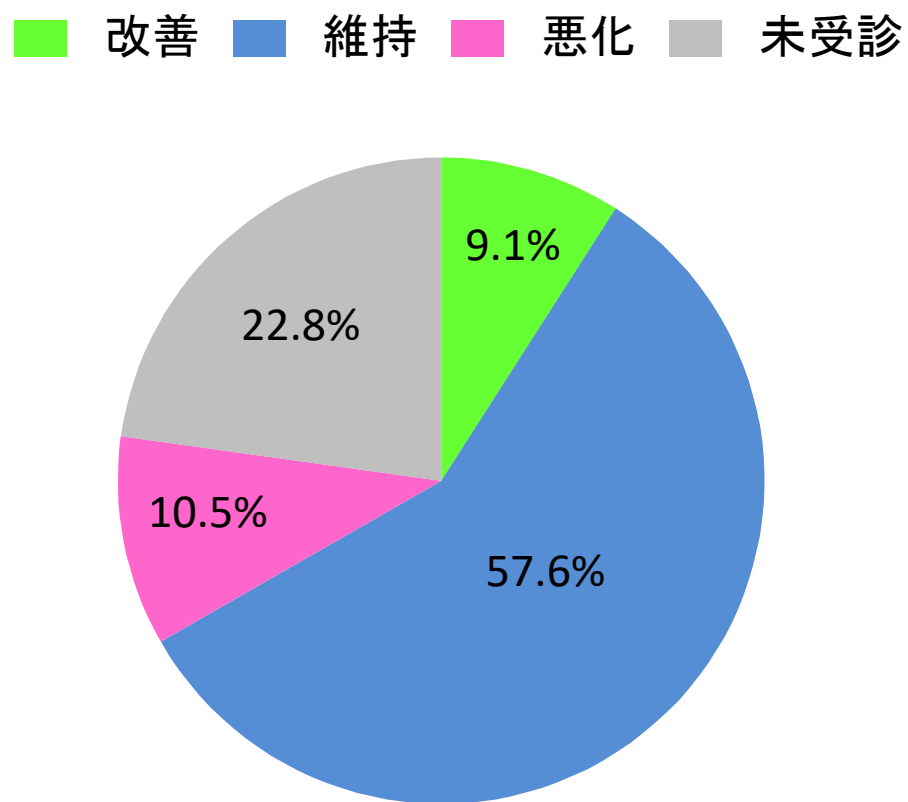
■ 改善 ■ 不変 ■ 悪化 ■ 未受診

# 糖尿病性腎症病期の状況

## 平成30年度の糖尿病性腎症病期分類



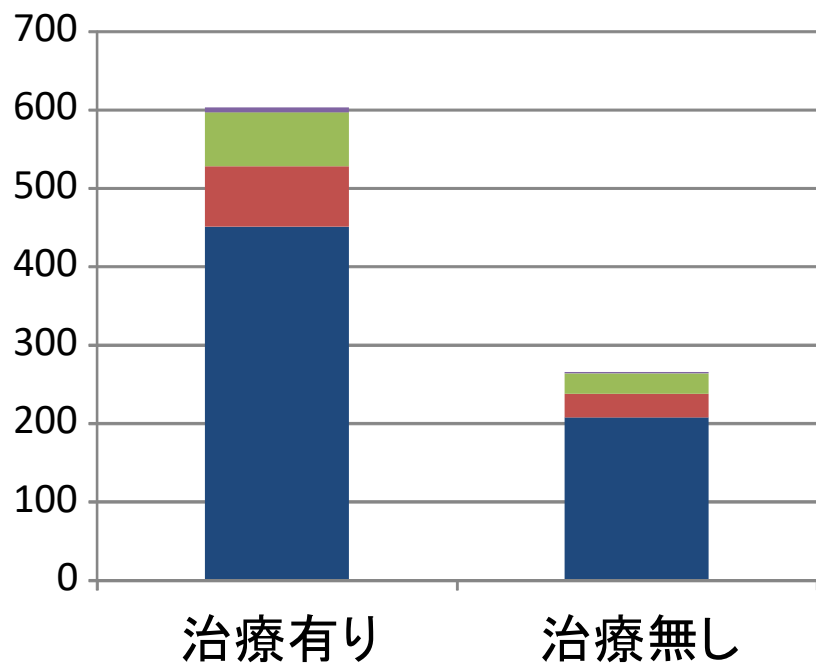
## 令和1年度の状況変化



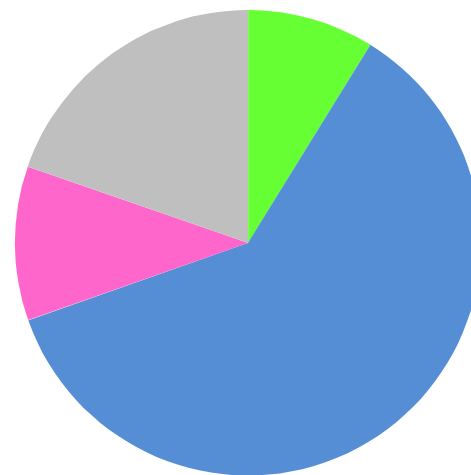
# 糖尿病性腎症病期の状況

## 平成30年度の糖尿病性腎症病期分類(治療の有無別)

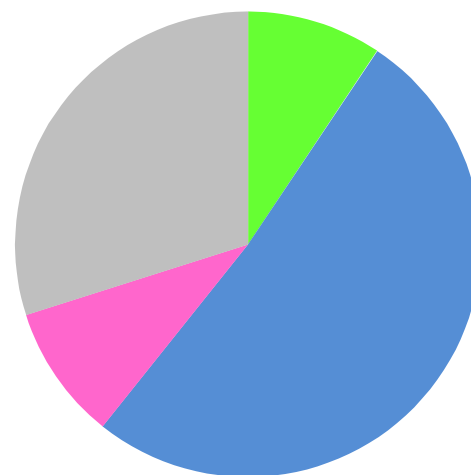
- 第1期
- 第2期
- 第3期
- 第4期



### 治療有り



### 治療無し



■ 改善

■ 維持

■ 悪化

■ 未受診

# まとめ

---

- 羽咋郡市における特定健診受診率は高値を維持している。
- 治療有り受診者のHbA1c値は、6.9%以下の層が減り7～7.9%の層が増える傾向が続いていた。
- かかりつけ医と専門医との連携は、令和3年度の大きな課題である。